



<安全標語> 気を配れ 段差・スリップ・身のまわり
牟礼1班 盈 修郎 (平成28年度優秀作品)

安全ニュース NO. 102

公益社団法人 三鷹市シルバー人材センター安全管理委員会 平成28年11月18日発行

平成28年度シルバー人材センター安全大会に参加して

安全管理委員会委員長 岡田克保

去る9月30日、東京しごと財団の安全大会に参加しました。
58地区の安全管理委員の代表と事務局担当者併せて140名、27年度の安全就業優良シルバー人材センター、28年度の安全標語表彰者とスタッフ含めると全体で200名以上の大会でした。
ここで、まず初めに安全宣言を全員起立で復唱

「安全宣言」

東京都のすべてのシルバー人材センターは「安全は全てに優先する」との基本理念のもと、組織一丸となって、事故ゼロを目指す。

- 一 危険または有害な作業を内容とする業務は受注しない
- 一 事故の未然防止のために必要な知識・技能の情報を共有する
- 一 事故の情報を分析し再発防止を徹底する

次に、安全に関する事例発表で足立区と福生市のシルバー人材センターが安全就業の取り組みと事故防止対策の発表。

続いて平成28年度の「安全就業標語入賞作品」表彰式

テーマ1 『わたしの安全行動』

最優秀作品 「まず基本 ルール守って 安全就業」

墨田区シルバー人材センター

優秀作品 「気を配れ 段差・スリップ・身のまわり」

三鷹市シルバー人材センター
牟礼1班 盈 修郎 会員

他3点

テーマ2 『各地の実情に合わせたもの』

最優秀作品 「忘れるな ヒヤリで済んだ あの経験」

目黒区シルバー人材センター

他4点

三鷹市シルバー人材センター牟礼1班の盈修郎さんが優秀作品で晴れやかに表彰状と記念品を授与されているのが印象的でした。短い標語の中に、私たち高齢者が避けて通れない課題を表現していると思います。他の最優秀作品と共に記憶にとどめ安全意識を高めていきましょう！



自転車事故対策

東京しごと財団の報告によると平成 27 年度の 530 件の傷害事故の内訳は、就業中 334 件、経路途中（就業途中など）196 件でした。経路途中の事故では、自転車利用時 134 件、歩行時 61 件、その他 1 でした。

三鷹市シルバー人材センターの場合、平成 27 年度では傷害事故 11 件の内訳は、就業中 5 件、経路途中 6 件ですべて自転車による事故でした。

28 年度においては既に傷害事故が 7 件発生し、経路途中 4 件が自転車事故によるものです。

他のセンターに比べて当センターは**自転車事故が多発**しています。

自転車は便利で気軽に遠くへ行け、多少の荷物も手軽に運べます。

しかし、自転車は「車両」であり、基本は車道通行がルール。**乗り方を誤ると不安定な怖い乗り物**になります。

自損事故で被害者にもなり、又、危険運転により加害者にもなります。

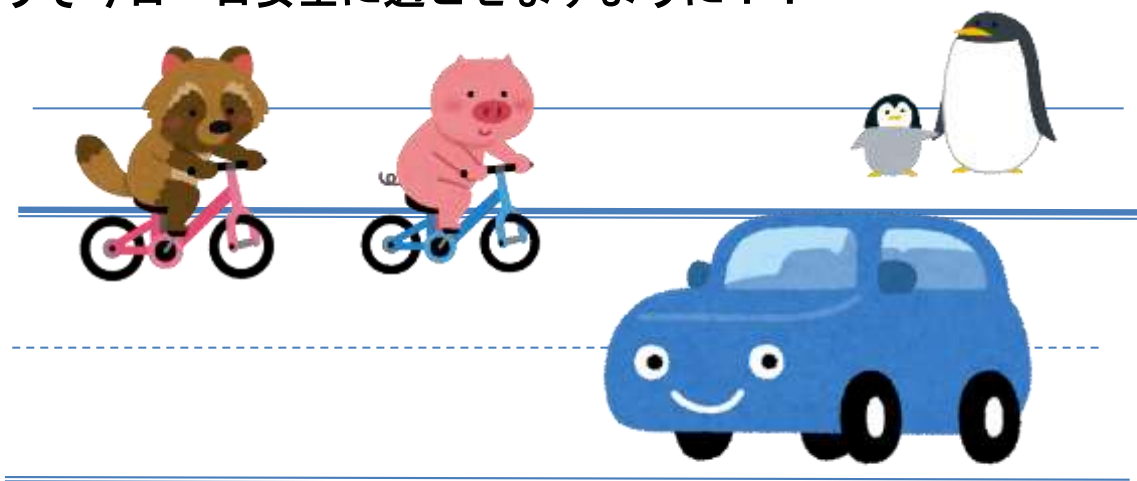
三鷹市の場合、経路途中では**自転車による自損事故**がほとんどですが、その事故原因で一番多いのが「**バランス崩し**」、次に「スリップ」、「ハンドル操作不適」などです。

ヒューマンエラー分類では最も多いのは「不注意」、次に「危険軽視」ですが、すべての分野で個人の「**機能低下の自覚不足**」があげられます。

精神的には注意力や危険に対する認識の低下、肉体的には平衡感覚や敏捷性瞬発力、脚筋力の衰えによるものと言われています。

私たちは体の状況を自覚し、自転車利用時はゆっくり走り、**交差点ではいつでも止まれる用意**をし、**段差は降りて移動**して、**常時道路の左側**を走行するように努めましょう。

どうぞ今日一日安全に過ごせますように！！



平成28年度冬期安全就業強化月間の取り組みについて

期 間	準備期間：平成28年11月1日（火）～11月30日（水） 強化月間：平成28年12月1日（木）～平成29年1月31日（火）
重点目標	「事故ゼロを目指す」
重点項目	・安全就業基準の遵守 ・転倒事故の防止 ～ 特に降雪・路面凍結に注意 ～ ・自転車事故防止

職群班・地域班安全リーダーの取り組み

- ① 安全リーダーは、可能な方法で会員とコミュニケーションを取り、安全就業強化月間の周知に努める。又、安全就業基準の徹底遵守を呼びかける。
- ② 職群班安全リーダーは、重点目標に沿った安全意識の喚起、作業前安全ミーティング、作業前安全点検、安全阻害要素の排除、指導に努める。
- ③ 地域班安全リーダーは、配付作業や就業途上の事故防止のための安全活動（研修の実施や資料配付など）を推進する。特に自転車事故防止のための安全ルールの遵守と安全な乗り方の喚起に努める。

就業会員の取り組み

- ① 安全就業基準（一般編）に今一度目を通し、守れていない項目をチェックしてこの期間で習得できる取り組みをする。
- ② 就業途上では、自転車の正しい安全な乗り方を徹底励行する。
 - ㊦信号を守る
 - ㊧交差点での一時停止と安全確認
 - ㊨車道は左側端を通行
 - ㊩降雪・凍結路面上では乗らない
- ③ 作業前準備体操、作業前安全ミーティング、作業前点検で安全就業を確認する。
- ④ 作業手順・安全就業基準の遵守および作業時の危険予知と安全確認の徹底を図る。
- ⑤ 屋外作業では、特に寒さに留意し、通行路面の凍結などに注意する。
- ⑥ 通路の安全確保などを実践し、段差・階段・障害物などによる転倒防止に努める。



《事故調査報告》—教訓を生かそう—

配付拠点で転倒し、負傷

事故状況：

配付業務で拠点管理倉庫から敷地境のロープの脇に止めていた自転車まで配付物を運ぶ途中、出入り口でない近道行動をした。その際ロープが垂れ下がっている部分を跨げると誤認して足を取られ転倒した。この際、造り付のコンクリート製のプランターの角に胸をぶつけた（肋骨にひび）。更に、止めていた自転車が自分の方に倒れてきて腕などに打撲を負った。自転車がなぜ倒れてきたか不明。時間的にも余裕がなく、配付物が量的にも多く、心が焦っていた。

事故の原因：

時間的に余裕がないという心理的な要因に加え、自分の自転車の位置と安全に運べるルートを予め確認することを怠った不注意。配付物の量的な重さもあり両手に抱えながら足もとが見えないまま近道行動をしてしまった。

事故の教訓：

心の動揺（時間的焦り）や重量物を持つことによるストレスで注意力散漫や近道行動を誘発したと思われます。与えられた環境の中でいかに業務を遂行し、事故を防止するかは個々の心の持ち様と安全意識にかかっています。

28年度の三鷹市シルバー人材センター「安全標語作品」最優秀賞を参考にしてください。

- テーマ1 私の安全行動 「ゆっくりと あわてず今日も 安全就業」
上連雀1班 岡田 克保 会員
- テーマ2 自由 「無理するな はやる気持ちさが 事故のもと」
北野班 伊藤 昭三 会員



平成 29 年度安全標語の募集について

今年も安全標語の季節がやってきました。奮ってご応募ください。

1. 締 切 日 平成 29 年 1 月 20 日(金)
2. 標 語 文 字 数 20 字程度
3. 募 集 内 容 テーマ1 「転倒・墜落事故防止」
テーマ2 「自由部門」 こちらは安全に関するものならなんでも結構です。
4. 応 募 方 法 専用応募用紙に記入して、事務局カウンター前の受付箱へ。
5. 応 募 点 数 ひとり各テーマ 3 点まで。
6. 応募作品について

理事会、安全管理委員会で審査し、東京都シルバー人材センター連合に推薦するとともに、理事会で表彰します。また、安全ニュース等、センターの印刷物、ホームページ等に掲載させていただきます。